

所管部長等名	教育部長 北岡 博
所管課・係名	生涯学習課 第一公民館係
課長名	宮崎 和喜

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	公民館講座の充実	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	社会教育講座関連経費
会計区分	一般会計		
予算の事業名	生涯学習講座関連経費		
事業コード(大-中-小)	39 - 01 - 07		
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第2章 郷土を拓く人を育むまち	
	施策の大綱(節)【政策】	②生涯を通じた学びのまちづくり	
	施策の展開(項)【施策】	①生涯学習社会の構築	
	具体的な施策と内容	(3)生涯学習機会および学習情報の提供	
根拠法令、要綱等	社会教育法		
実施手法 (該当欄を●)	● 全部直営 ○ その他()	○ 一部委託 ○ 全部委託	法令による実施義務 (該当欄を●) ● 義務である ○ 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度 未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	地域住民	地域の共通する課題についての学習や地域ぐるみの文化活動など様々な学習交流が進み、生涯学習を通して「生きがい」のある人生を実感できる個性豊かな活力のある地域づくりが期待できる。
	内容 (手段、手法等)	社会教育法の規定に基づき、地域住民のために実際生活に即する教育、学術、文化に関する事業を実施する。また、市民のニーズに沿った多様な学習機会、学習情報の提供を行うとともに、その学習活動を通じて住民主体の地域活動や新たな学習の促進を図る。 [23年度取組状況]校区公民館を会場に、次の各種講座、学級等を開催した。 ・公民館講座…9講座 受講者総数896人 内容:日本民謡教室、料理教室、短歌教室、実用ペン習字講座、絵手紙講座 等 ・公民館クラブ…(自主講座サークル)101団体 内容:音楽、芸能、華道・茶道・書道、ダンス・舞踊、体操・トレーニング 等 ・パソコン教室…6講座 受講者数98人 内容:ワード、エクセル、インターネット、デジカメ・年賀状 ・高齢者学級…12学級 参加者総数2,446人 内容:男性料理教室、健康体操、交通安全教室 等 ・婦人学級…11学級 参加者総数3,655人 内容:「食は生命(いのち)親子で学ぼう!食育」講話及び実習 ・家庭教育学級…48学級、参加者総数14,222人 内容:人権学習、環境学習、親子料理、健康体操 等 ・その他…各校区総合社会教育推進協議会や福祉推進協議会、健康づくり推進協議会の協力を得て、「男の料理教室」や「運動教室」「栄養教室」など地域主催での学習活動を実施した。 (26講座 参加者総数1,341人)	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	市民のニーズに応じた、年間を通じた市民教育講座を開設するなど、新たな学習の場の検討を行ってきた。また、市民の年代や地域ごとの様々な課題を解決するために、平成23年度からは地域公民館講座を実施し、参加型の学習講座を開設している。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	7,249	6,998	7,298	7,298	7,298	7,298	
	事業費(直接経費)	千円	1,649	1,398	1,698	1,698	1,698	1,698	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他(諸収入)	千円	646	461	705	705	705	705
	一般財源	千円	1,003	937	993	993	993	993	
概算人件費(正規職員)	千円	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600		
正規職員	従事者数	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
	臨時職員等従事者数	人							
成果指標 (もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 家庭教育学級開設数	実際に開設された学級数が多いほど、生涯学習の視点に立った家庭教育の充実に貢献していると考えられるため指標として設定した。	学級	50	48	50	50	50	50
	② 公民館自主講座クラブ登録数	実際に登録されたクラブやサークルの団体数が多いほど、市民の生きがいづくり、健康づくりに貢献していると考えられるため指標として設定した。	団体	103	101	105	105	105	105
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 市民に生涯学習の機会を提供するとともに、市民の生涯学習活動に ついて幅広く支援できている。また、市民の一人ひとりが主役の生 涯学習活動を通じて、活力のある地域づくりが推進できるものと思わ れる。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A (現状分析等) 家庭教育学級の開設数は、合併した当時に比べ増加し、近年ほぼ 横ばいの傾向にあるが、平成24年度目標値である開設数50学級の 達成へ向けて、順調に推移していると思われる。 また、公民館自主講座クラブは、市内の各校区で100を超える団体 が登録されており、市民に生涯学習の機会を広く提供できていると 思われる。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A (現状分析等) 身近な場で学びたい市民の割合は増加してきている。地域のニーズ や課題を反映し、各地区の独自性・主体性に応じて生涯学習事業が 展開できるよう今後検討が必要である。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 事業は、概ね順調に進んでいる。今後も市民や地域のニーズを反映し、課題の解決に取り組 み、事業の充実に努めたい。 地域公民館講座では、多様化・高度化する市民の学習ニーズに応えるため、参加型の学習講 座を開設し、地域の課題解決に向けた学習機会の提供を行うことにより、市民がより豊かで、 生きがいのある生活を送られるよう支援する。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 社会のさまざまな変化に対応できるよう、社会的、公共的課題について幅広く学習できる 状況が求められている。市民の年代や地域ごとの様々な課題を解決するために、より実践 的な学習が必要となることから、地域の学習ニーズを的確に把握したうえで、講座を開設 する。	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度	
---------	---	------	--

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------